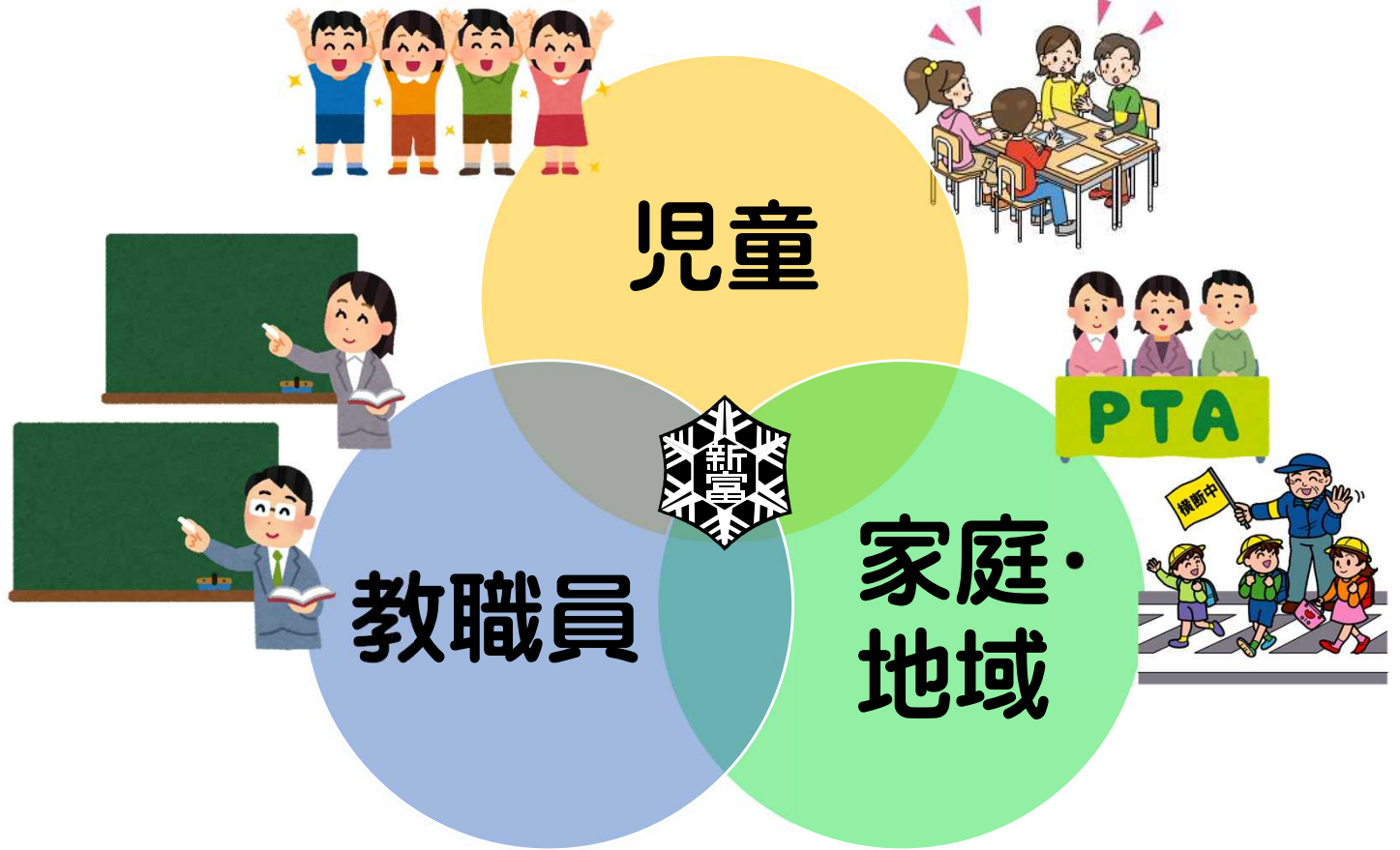


令和 8 年度 前期 学校評価アンケート 集計結果と考察

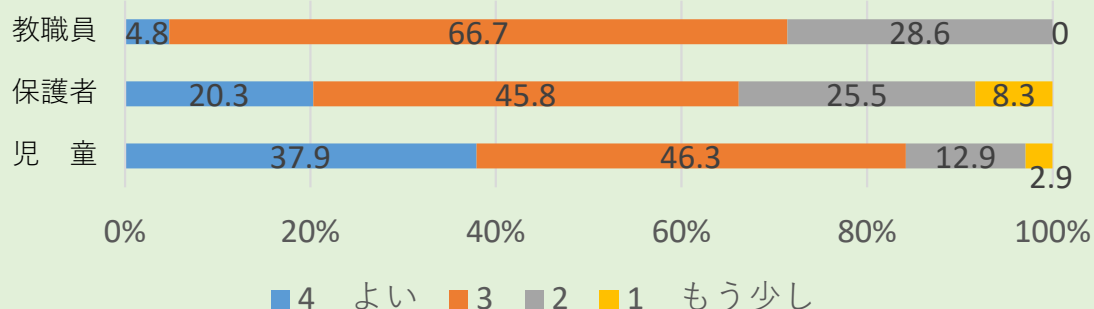


旭川市立新富小学校

令和 8 年 8 月 3 1 日

「【学習】かしこく よく考え、積極的に取り組む子どもの育成を目指す」に関する結果

評価指標1 児童は、文章や資料から必要な情報を自分で見付けることができますか（読む力）。

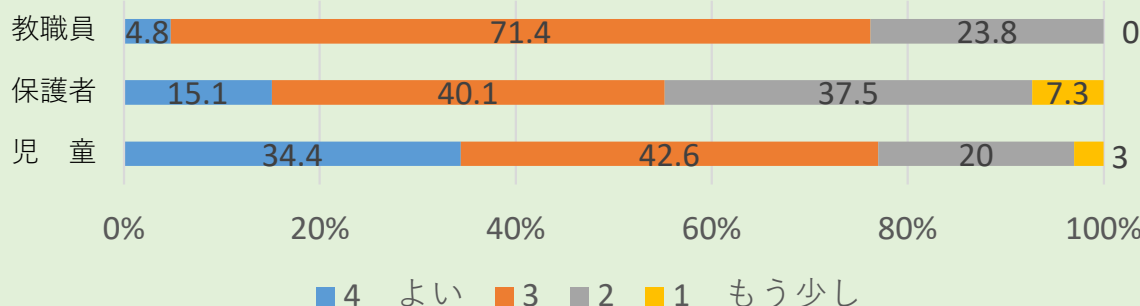


保護者
平均値 4 + 3

2. 8 66%

「4 + 3」の数値
肯定的に答えている
割合になります

評価指標2 児童は、根拠を示しながら自分の考えを分かりやすく伝えられていますか（伝える力）。



保護者
平均値 4 + 3

2. 6 55%

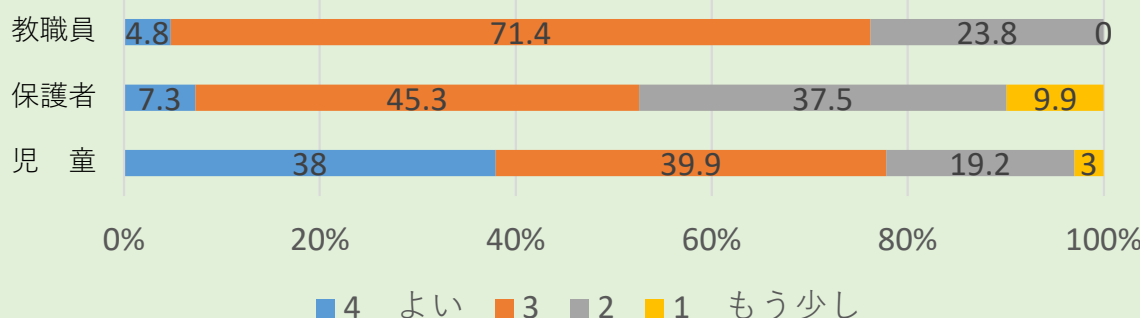
青字は課題項目



保護者
平均値 4 + 3

2. 5 53%

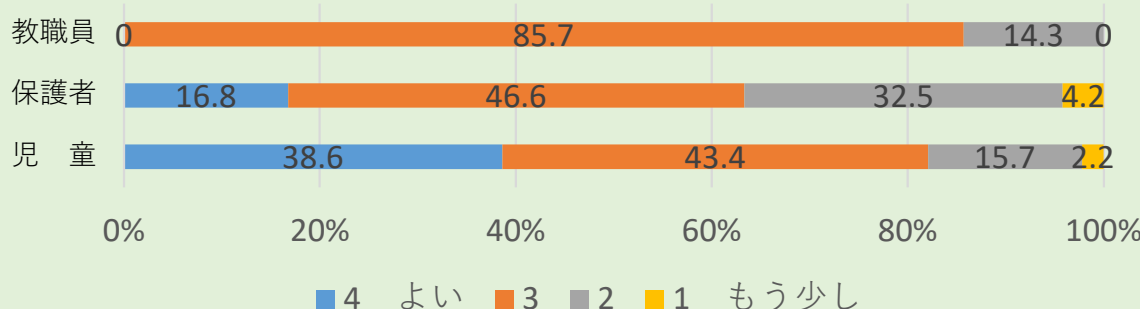
評価指標3 児童は、「本当にこれでよいかな？」と自分で見直し、修正点や改善点、間違いに気付くことができますか（確かめる力）。



保護者
平均値 4 + 3

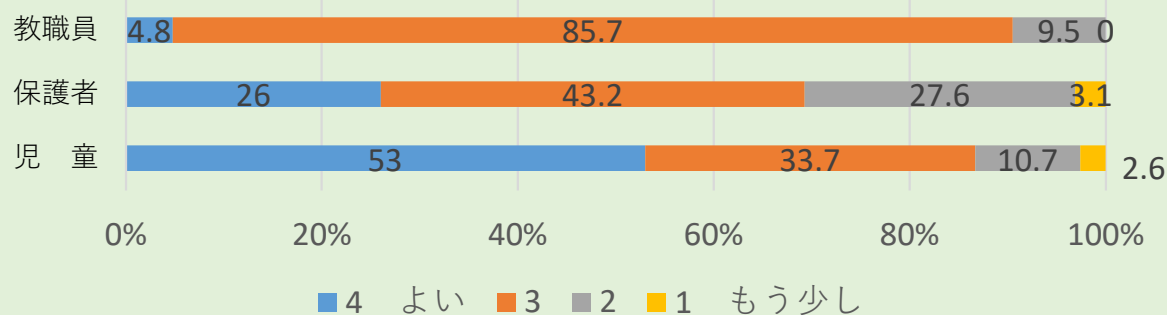
2. 6 63%

評価指標4 児童は、学んだことを他の学習と結び付けて考えることができますか（学びをつなげる力）。



「【学習】かしこく よく考え、積極的に取り組む子どもの育成を目指す」に関する結果

評価指標5 児童は、習った漢字や言葉、計算を正しく使い、適切に使えていますか(学んだことを使う力)。



保護者
平均値

4 + 3

2. 9

69%



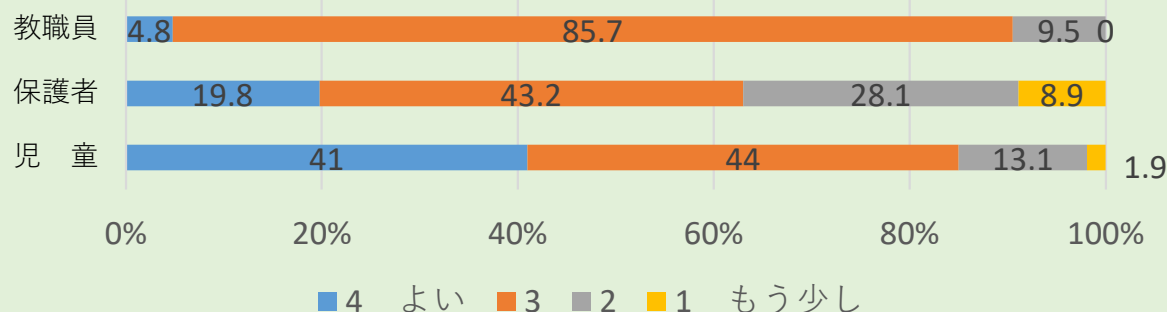
保護者
平均値

4 + 3

2. 7

63%

評価指標6 児童は、課題の解決に向けて、進んで考え、自分で取り組むことができますか(学習への主体性)。



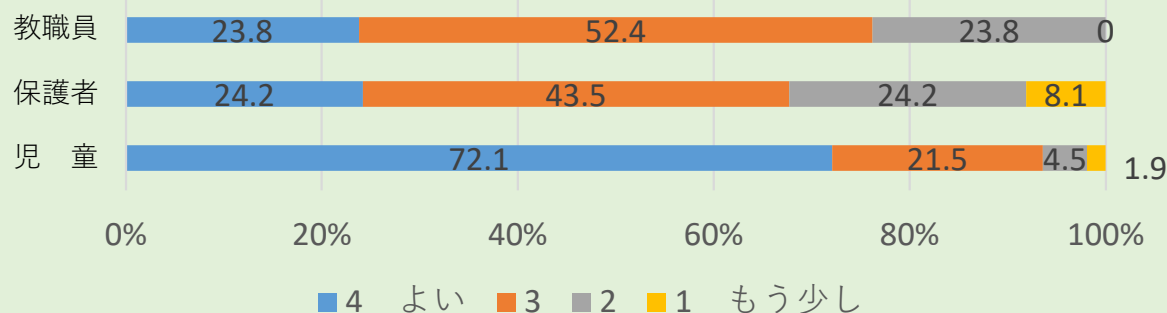
保護者
平均値

4 + 3

2. 8

68%

評価指標7 児童は、ICT機器を効果的に活用し、自らの学習や課題解決に生かすことができますか(ICT活用能力)。



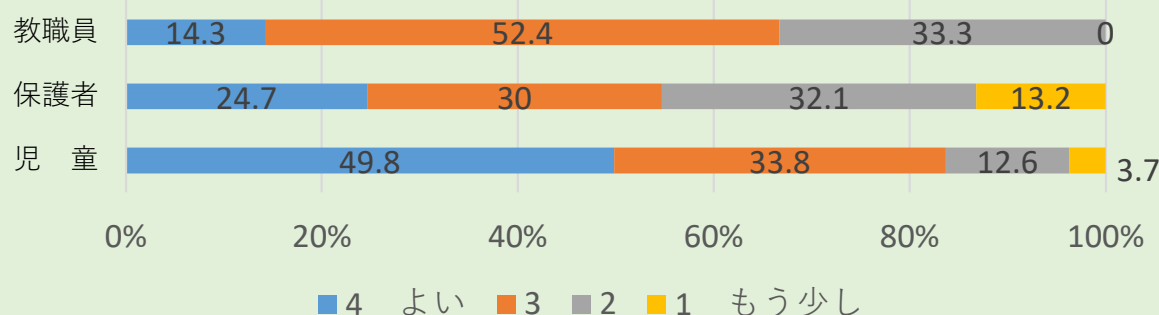
保護者
平均値

4 + 3

2. 7

55%

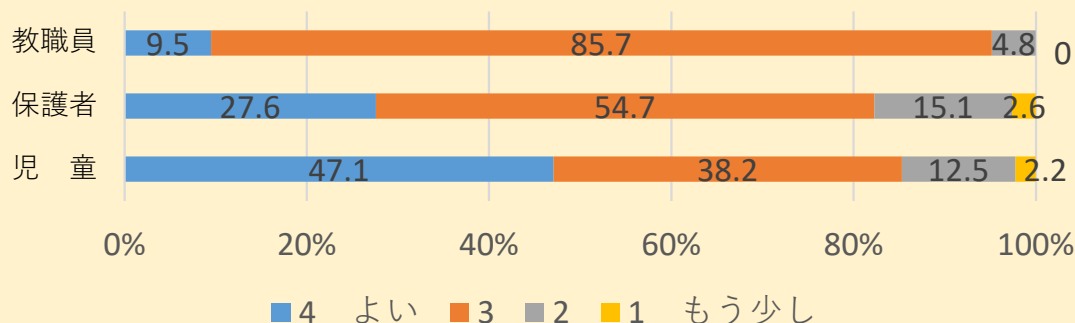
評価指標8 児童は、学びのサイクルを考えながら自分で学びを進めることができますか(主に家庭学習のに取り組む力)。



【考察】【学習】に関する評価では児童は肯定的回答率80%以上の項目が多く見られています。保護者から見て「よく考え、積極的に取り組む子ども」の姿を感じられるように、今後は「伝える力」「確かめる力」の育成を重視し、「理由の説明」や「確かめの習慣化」等を意図的・計画的に進めていきます。また、「家庭学習」に関しては「自分で学びを進める力」の育成を継続的に進めていきます。

「【生活】なかよく 仲間を思いやるやさしい子どもの育成を目指す」に関する結果

評価指標9 児童は、自分のよいところを積極的に伸ばし、自尊感情や自己有用感を高めながら生活することができているか（明るさ）。

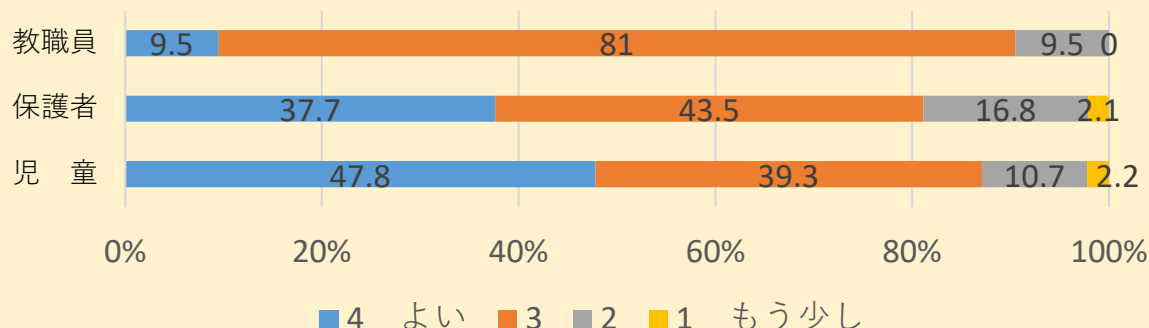


保護者
平均値 4 + 3

3. 1 82%

赤字は成果項目

評価指標10 児童は、学年に応じた自覚ある言葉遣いやルールを守り、落ち着いた生活ができているか（素直さ）。

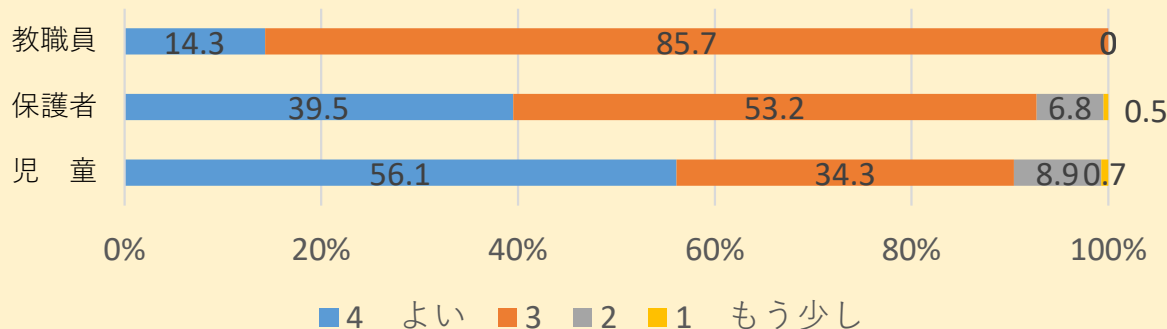


保護者
平均値 4 + 3

3. 2 81%



評価指標11 児童は、周りの人と積極的に関わり合い、互いのよさを認めながら行動することができているか（優しさ）。

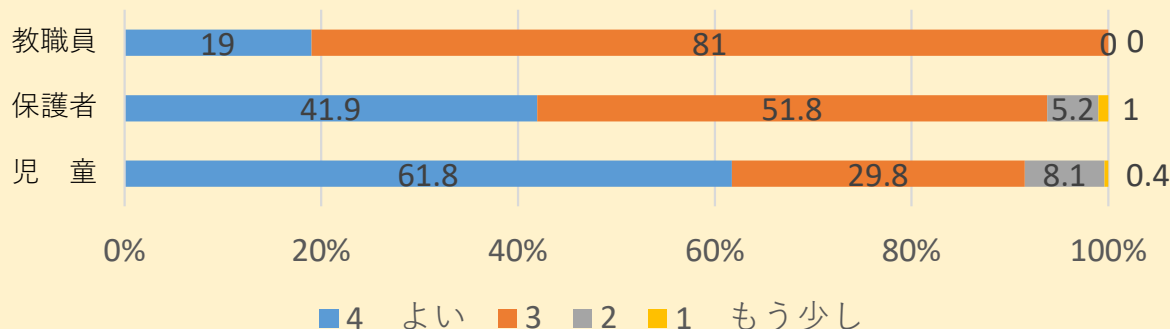


保護者
平均値 4 + 3

3. 3 93%



評価指標12 児童は、学級の一員としての自覚をもち、みんなと協力しながら行動することができているか（優しさ・素直さ）



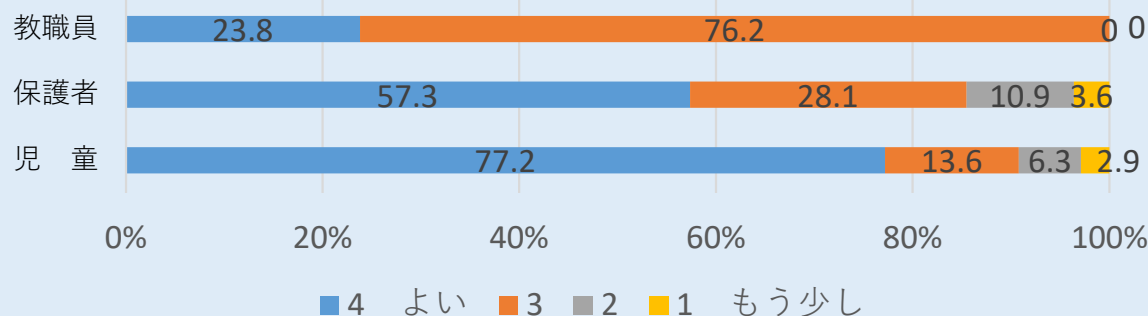
保護者
平均値 4 + 3

3. 3 94%

【考察】【生活】に関する評価では三者共に肯定的回答率が80%以上となっています。「認め合い 支え合い 学び合う活動」を重視した教育活動を意図的・計画的に推進していること、子供たちの実態を踏まえ一人一人が活躍できる場面を設定していること、保護者、教職員共に子供たちをよく見取り適切に評価・励ましの声掛けをしていること の成果だと考えます。今後とも子供たちの優しさを育む声掛けをお願いします。

「【健康・安全】たくましく がんばりぬく 健康な子どもの育成」に関する結果

評価指標13 児童は、運動に楽しみながら取り組むことができているか（自主性）。

保護者
平均値

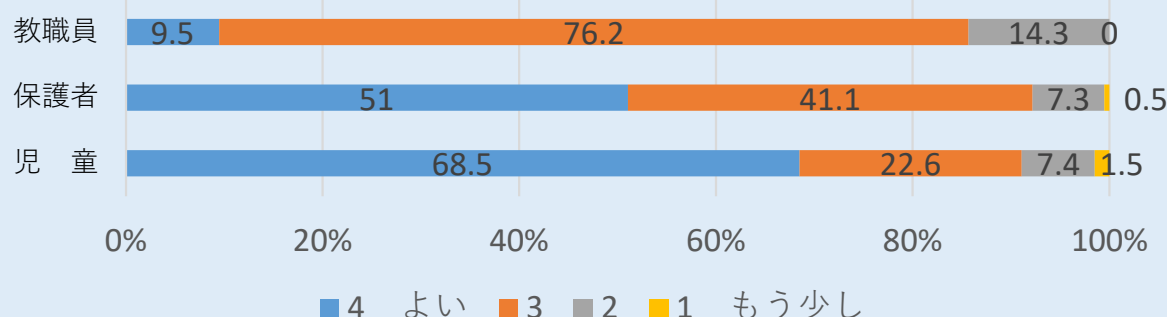
4 + 3

3. 4

85%



評価指標14 児童は、健康・安全に気を付けて学校生活を送ることができるか（意思力）。

保護者
平均値

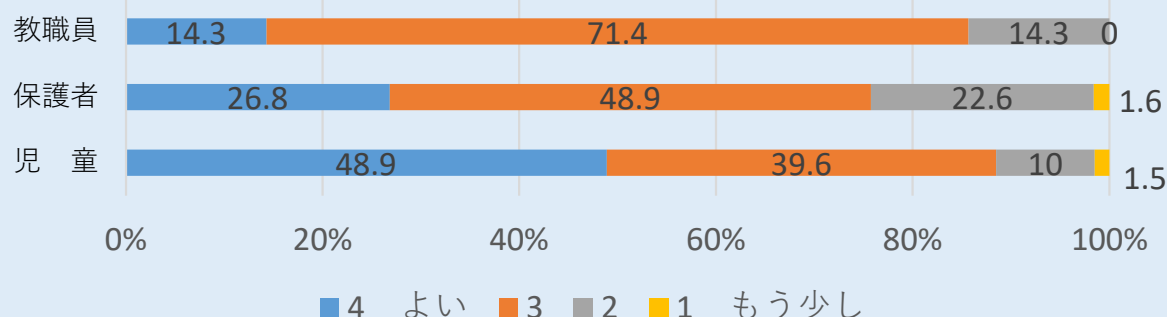
4 + 3

3. 4

92%



評価指標15 児童は、めあてを達成するため、手順や方法を工夫しながら仕事や活動をしていることができるか（意欲・自信、意思力、自主性）。

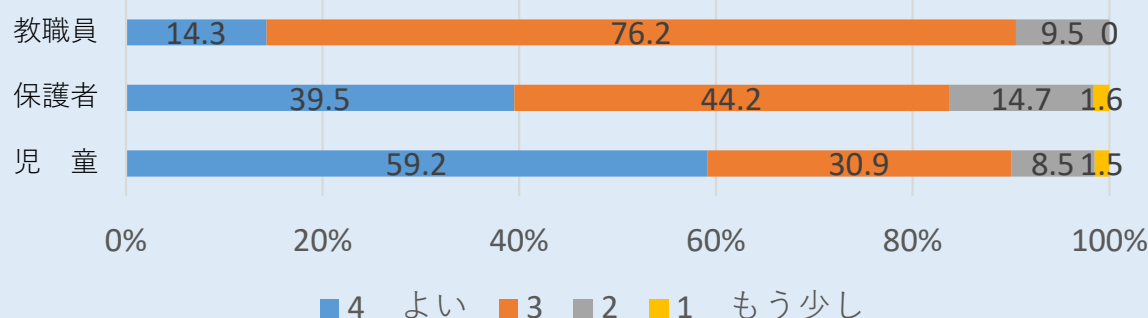
保護者
平均値

4 + 3

3. 0

76%

評価指標16 児童は、全体のことを考え、責任をもって最後までやりとげることができるか（責任感・根気強さ・協働性）。

保護者
平均値

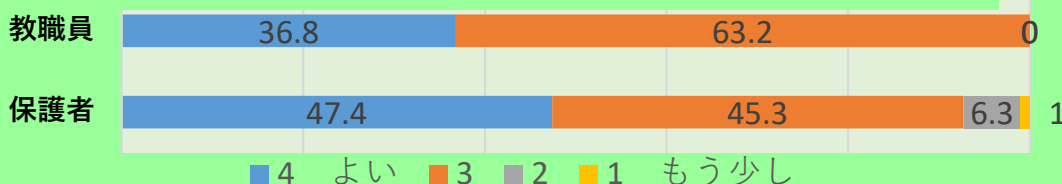
4 + 3

3. 2

84%

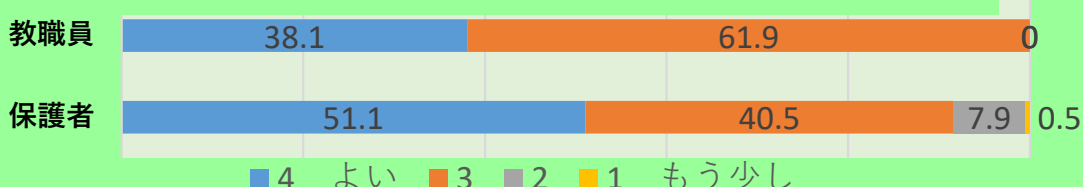
【考察】【健康・安全】に関する評価でも三者共に肯定的回答率が80%以上となっている項目が多いです。「運動会」「新富オリンピック」など、体力・運動意欲向上をねらいとした行事の適切な推進、各教育活動における結果だけでなく「過程」を重視する指導、行事等における「めあての設定と振り返り」の継続、行事における子供による係活動の実施の成果だと考えます。ご家庭でも「頑張っている過程」を励ましてください。

評価指標 2 1：学校は、教育目標や年度の重点、教育活動の様子を分かりやすく保護者に伝えている。（二者比較）



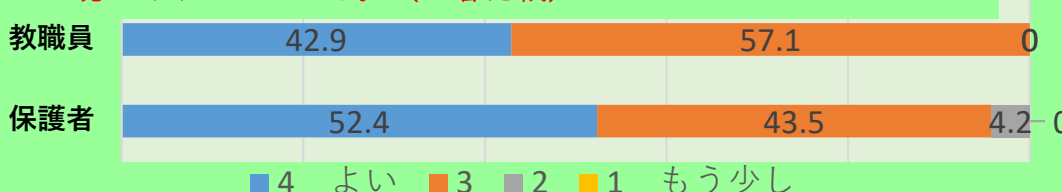
保護者 平均値	4 + 3
3. 4	93%

評価指標 2 2：学校は、子供たち一人一人の良さを認め励ます学級づくりをしている。（二者比較）



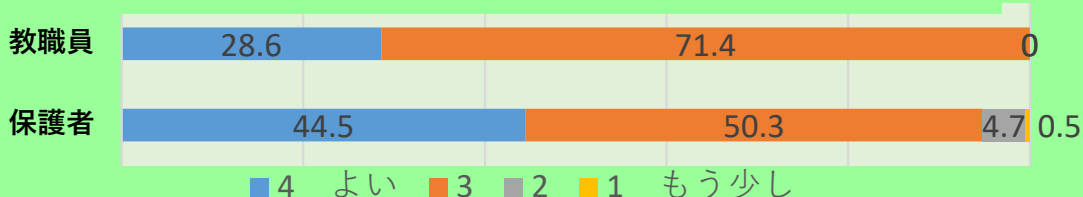
保護者 平均値	4 + 3
3. 4	92%

評価指標 2 3：学校は、子供が安心・安全に学習・生活できる環境づくりをしている。（二者比較）



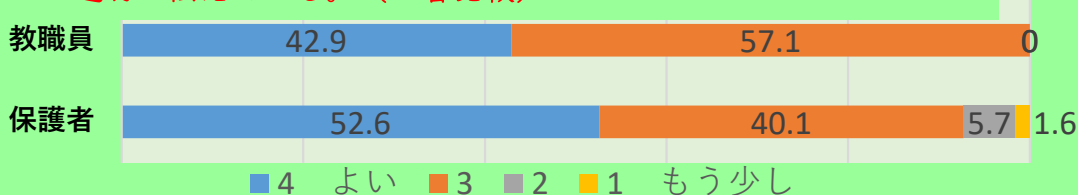
保護者 平均値	4 + 3
3. 5	96%

評価指標 2 4：学校は、子供の基本的生活習慣の定着や、体験的な活動の実施など、家庭や地域の人々と連携して指導している。（二者比較）



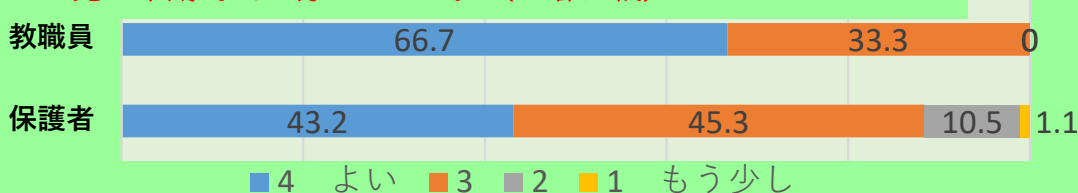
保護者 平均値	4 + 3
3. 4	95%

評価指標 2 5：学校は、学習や事務に関わる連絡・通信を適時・適切に伝えている。（二者比較）



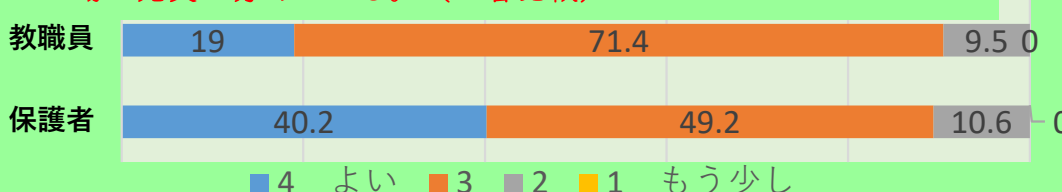
保護者 平均値	4 + 3
3. 4	93%

評価指標 2 6：学校は、いじめや問題行動等への予防や早期発見・早期対応に努めている。（二者比較）



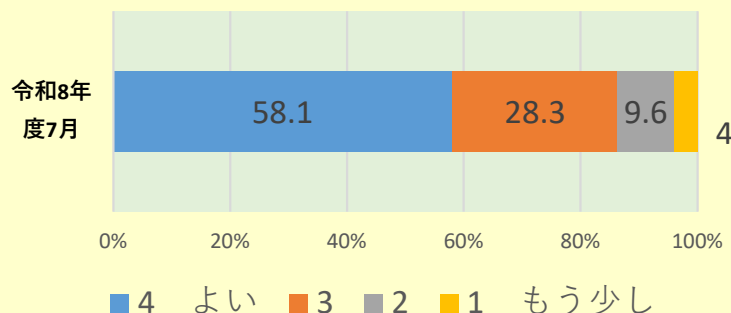
保護者 平均値	4 + 3
3. 3	89%

評価指標 2 7：学校は、不登校傾向児童への支援や多様な学びの場の充実に努めている。（二者比較）

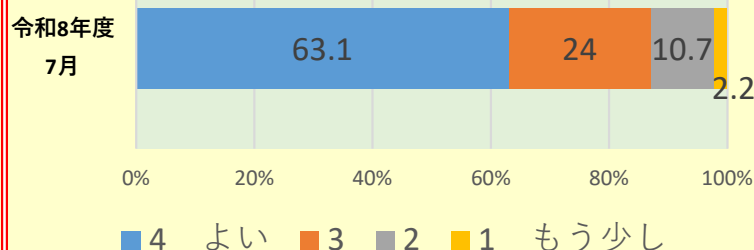


保護者 平均値	4 + 3
3. 3	89%

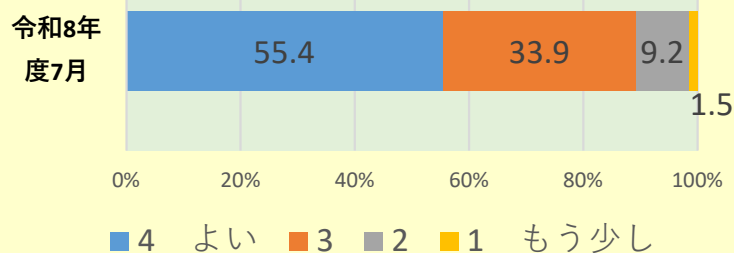
学校に行くのは楽しいと思いますか。



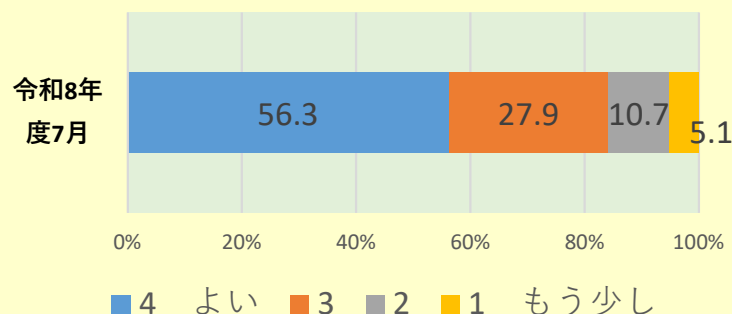
学校生活の中で幸せな気持ちになることはありますか。



学校では自分の役割や得意を発揮する場面がありますか。



自分にはよいところがあると思いますか。



【考察】【学校教育全体】に関する評価は全項目で肯定的回答率が80%以上となっています。また、児童自身の学校生活の振り返りでも肯定的回答率が80%を超えています。各種通信(学級・学年通信、ほけんだより等)による適切な情報発信、保護者との連絡を重視していること(電話連絡等への対応、ありがとうございます)、いじめ・不登校問題の情報共有と組織対応の徹底の成果だと考えます。今後とも学校教育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「記述欄」に関して

アンケートへの御協力ありがとうございました。頂戴いたしました御意見を真摯に受け止め、新富っ子のよりよい成長のために、今後も学校運営の改善を推進できるようにしたいと考えています。また、教職員・学校への励ましのお言葉も多く、教職員一同、大きな励みとさせていただきます。

お寄せいただいた御意見を、2学期以降の諸会議や学年等の打合せの中で検討していきます。多角的な視点から検討し、見直しが必要な事柄については、改善が図れるように努めていきます。

また、見直しや改善を図ったことについては、その都度、保護者の皆様に「学校だより」等を通じて、お知らせしていきたいと考えています。

今回いただいたご意見内容

○運動会等の行事内容について ○家庭学習の取組について ○学習支援体制について ○行事写真の販売方法について ○子供たちの挨拶の様子について ○教育活動・PTA活動への感謝について

複数の方から御指摘いただいた点に絞って記述欄への回答をさせていただきます。また、個人が特定されないよう、係で一部文言の修正をさせていただきます。ご承知おきください。なお、今回の回答としていない事柄も含め、個人的な回答を必要とされる場合は学校(24-3278 担当：教頭)までご連絡ください。

～記述欄より～ 「行事内容」について 〈回答〉

行事内容につきましては、「行事を通して子供たちが成長できること」を一番のねらいとして取り組んでいます。子供たちの実態に応じた目標を設定し、その目標達成に向け、年度ごとに内容を検討しながら取組を進めています。その際には、練習時間や内容が子供たちや教職員にとっての過度な負担にならないことも考慮しています。詰め込みすぎにならないように一人一人に応じた指導・支援ができる体制で取り組むことにより、子供たち全員の目標達成・よりよい成長を目指しています。

2学期に実施される「学芸会」につきましても、次年度以降は「学習発表会」として実施を予定しています。日常の学習の成果を生かした発表(学習発表)とすることで、子供たちや教職員がこれまでよりもゆとりをもった取組の中で、それぞれのよさを発揮したり、目標達成を目指した中での確かな成長を遂げたりできることがねらいです。行事当日だけでなく、行事を通した子供たちの成長も見守っていただきたいと思います。どうぞご理解・ご協力をお願いいたします。